

市南部地域のまちづくりと 全市民への早期の物価高騰支援

西東京市議会公明党 大林 光昭(おおばやし みつあき)

問 住居確保のセーフティネットとして、旧雇用促進住宅の賃貸条件の変更に、事業者と協議して適切な対策を講じるべき。市の見解は。

答 個々の状況に合わせた支援を検討したい。

問 都市計画道路3・4・24号線の田無駅南口交通広場と街路部分の進捗状況と今後の予定を問う。

答 田無駅南口交通広場は、令和7年11月末時点の事業用地取得率は93.7%、未取得用地2件のうち1件は今年度中の契約締結を見込んでおり、1件は10月29日に東京都収用委員会に土地収用法による裁決申請及び明渡し裁決の申立てを行った。街路部分は事業認可申請を行っており、令和8年1月に事業認可の取得を予定。事業認可取得後、速やかに用地補償説明会を開催する。

問 物価高騰により、市民生活に大きな影響が出ている。補正予算で早期に対策を講じるべき。

答 国から可能な限り令和7年中での予算化の検討を要請されているが、検討には一定の時間が必要。できるだけ早く市民の皆様を支援したい。

意見 スピード感と広く市民に恩恵が行き渡ることを軸に、事務経費が少ない方策を検討すべき。



▲田無駅南口

老朽化する学校施設の修繕にもっと予算を トイレのプライバシー対策は喫緊の課題!

生活者ネットワーク かとう 涼子(かとう りょうこ)

ひきこもり支援について

問 ひきこもりの方の社会参加に向けた受皿づくりの現状は。

答 地域全体で当事者と家族を支援するネットワークづくりを目的に、地域活動団体との情報交換会を開催した。

問 ひきこもり当事者の外出支援やアウトリーチを担う市民サポート制度を構築できないか。

答 ほっとネット推進員や民生児童委員など既存の仕組みも活用し、ひきこもりへの理解を促進する。

タクシーを活用した実証運行

問 地元の肌感覚として、まだまだ広がりに欠ける。今後の方向性は。

答 認知度アンケート調査を行う中で地域の意見や要望を確認していく。

学校トイレと施設の修繕

問 P保連*のアンケート調査で、子

どもたちから「トイレの扉がなく、廊下から丸見え」「安心して用が足せない」などプライバシーへの不安が寄せられている。早急な対応を。

答 袖壁やのれんで目隠ししてきたが、学校等の要望を踏まえ対応する。

問 学校施設の劣化は深刻。修繕や緊急対応の費用を優先的に確保せよ。

答 予算編成の過程で状況を把握し、事業全体での優先順位を判断する。



▲実証運行車両のりば
(田無駅北口)

平和教育と人権教育を再構築し、いじめを しない・許さない学校文化を作り上げよう!

西東京市議会公明党 藤田 美智子(ふじた みちこ)

問 平和教育は人権教育。いじめ根絶の視点から、学校における平和教育の現状や在り方、不登校児の学びの場の確保、心の小さなSOSの早期発見への対応について問う。

答 社会科・道徳の内容を基に人権的にも理解を深めるよう指導。いじめ防止への自発的な行動につなげる共通意識の醸成ができるよう、平和教育の実施を指導助言していく。不登校児には、専門職(SC* /SSW*等)の活用や関係機関との連携で、自分に合った学び方や進路選択を支援していく。学校の校内委員会での柔軟な対応で方策を立て、不登校未然防止や早期支援に努める。

問 社会・道徳等に限らず、あらゆる授業で平和教育・人権教育を推進していく体制づくりを求める。

答 平和教育や、いじめ防止に向けた取組の根幹にあるものは、人権教育であり、命の大切さを知ること。学校と教育委員会が共有し、一層の連携強化を図ってまいりたい。

問 加齢性難聴のフレイル予防環境整備を求めてきた。進歩を問う。

答 西東京市医師会の協力の下、検討会議にて補聴器の継続使用や社会参加が重要との共通認識を確認。分析等を踏まえ、在り方を検討する。



市所有井戸のPFAS調査は継続を求める! 震災用井戸の適切な維持管理を求める!

生活者ネットワーク 後藤 ゆう子(ごとう ゆうこ)

問 市所有井戸の5か所から指針値を超えるPFASが検出された。市はどうように受け止めているか。

答 指針値の超過の有無にかかわらず正確な情報を市民と共有し、都と協力して実施する地下水概況調査と併せて確認することにより、本市全域の地下水の状況把握に一定の意義があると捉えている。

問 指針値を超えた井戸に浄水器を設置しないのか。

答 災害時の生活用水として利用を想定しているので、現時点で浄水器の設置を行う予定はない。

問 今後も継続して調査を行うことを要望するが、行う予定か。

答 国や都、専門事業者等と連携しながら対応を検討していく。

問 採水できなかった井戸は。

答 井戸の廃止も含め、対応につい

て検討する。

問 LGBT理解増進法に基づいた市の施策の取組状況を確認する。

答 市職員への研修は新規採用職員向けにLGBTQへの理解促進研修を実施。市民向けには、LGBTQに関するパンフレットを作成し配布している。昨年度に市内中学校において性の多様性を取り上げた人権教育出張授業を実施した。



◀西東京市の
LGBTQ
リーフレット

議会 NEWS

議会防災訓練を行いました

開催 令和8年1月23日(金)

地震災害発生時の初動対応訓練として、議会災害対策支援本部の開設・運営の検証を行い、市議会議員の初動対応強化及び対応能力の強化を図るために、議会防災訓練を行いました。

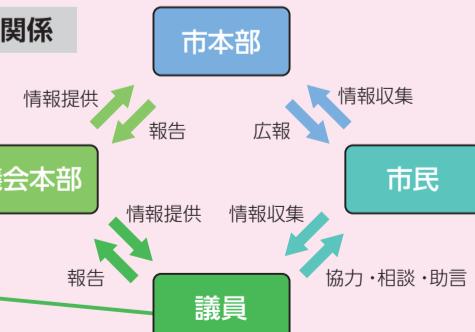
- 各議員安否確認等における通信訓練
- 議会災害対策支援本部の運営訓練



市議会と市の災害対策本部の関係

議員の安否確認、災害情報の収集・提供、市本部との情報共有を行います。

自分の居場所を報告し、連絡体制を確立します。また、情報収集・共有、救援活動、被災者への相談・助言に協力します。



議長公務

シルバー人材センターのみなさま 毎号議会だよりを全戸配布いただきありがとうございます

シルバー人材センターの正副会長が新年のご挨拶にいらっしゃいました。新年のご挨拶と合わせ、毎号議会だよりを全戸配布していただいていることに対し、感謝の気持ちを西東京市議会を代表してお伝えしました。

議会だよりがみなさまのお手元に届いているのは、シルバー人材センターのご協力があってこそです。

これからもどうぞよろしくお願いします。



▲シルバー人材センター正副会長と佐藤議長との懇談